



羅針盤

2013年度 第7号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2013. 7.17



いよいよ夏休みです。高校生としてやるべきこと、やりたいことはたくさんあるでしょう。それらをあきらめないですむように、一つでも多くこなせるように、まずは9月までの計画をしっかりと立てましょう。実り多き夏となりますよう、応援しています。



(株)ベネッセが参考になりそうなことを書いているので下に引用します。2年生向けの文章ですが、1,3年生にもあてはまります。

1. 「夏休みを4つに分けて」計画を立てる

夏休みは長いので、学習計画を考えるのが難しいという人もいるでしょう。そこで、夏休みを次の4つの時期に分けてみましょう。

①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬

それぞれの時期に何に取り組むかを考えると、学習計画が立てやすくなります。

2. 無理のない計画を立てる

学習内容を確実に理解するためにも、無理のない計画を立てるようにしましょう。週に1日「予備日」を設けるなど、予定通り進まなかった場合に計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

3. 課題を最優先で学習する

まずは夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで、復習もできます。

4. 苦手分野の復習に取り組む

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと感じている教科をここでしっかりと復習しておけば、受験勉強もスムーズにスタートできます。

5. 毎日の学習記録をつける

何時間学習したか、計画通りに学習できたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。



最後のオープンキャンパス情報です。8月3日(土)がピークです。

7月27日(土) 東京外語・東京学芸・慶應義塾・北里・昭和薬科・東京女子・東京薬科・日本・日本赤十字看護・

7月28日(日) 白梅学園・多摩・中央・東京家政学院・武蔵

7月29日(月) 東京農工

8月1日(木) 上智・立教・玉川

8月2日(金) 一橋・明治・星薬科・立教

8月3日(土) 女子栄養・学習院・慶應義塾・共立女子・工学院・駒澤・上智・成蹊・中央・東京家政・東京工科・東京女子・東京電機・日本女子・法政・早稲田

8月4日(日) 学習院・工学院・駒澤・成蹊・成城・中央・帝京・東京農業・文化学園・早稲田



文部科学省が、2014年度(平成26年度)に新設される予定の学部・学科などについて、それらをまとめた資料を公表しています。

皆さんに関係のありそうな学部・学科の一覧は、次のとおりです。関心があればぜひオープンキャンパスに出かけて見ましょう。

<私立大の学部の設置>

- ・上智大 総合グローバル学部＝総合グローバル学科 220
- ・創価大 国際教養学部＝国際教養学科 80
- ・武蔵野大 法学部＝法律学科 150・政治学科 100、経済学部＝経済学科 100・経営学 200 (政治経済学部は募集停止)

<私立大の学部の学科設置>

- ・玉川大 芸術学部＝メディア・デザイン学科 90、芸術教育学科 50 (メディア・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科は募集停止)
- ・多摩美術大 美術学部＝統合デザイン学科 120・演劇舞踊デザイン学科 80
- ・東京工科大 医療保健学部＝臨床検査学科 80
- ・東京農業大 応用生物科学部＝食品安全健康学科 140 (栄養学専攻は募集停止)
- ・法政大 生命科学部＝応用植物科学科 78
- ・早稲田大 基幹理工学部＝情報通信学科 90



6月24日(月)の朝日新聞に、「大学 どう選択？」というタイトルで、駿台予備学校情報センター長の石原賢一さんの文章が載っていました。皆さんの参考になりそうなので、下に紹介します。



一番大事なのは、自分が将来何をやりたいか、何に向いているかを、ある程度見極めること。将来の希望を持つのは、早ければ早い方がいい。その上で、志望大学を早く固めるとモチベーションが上がり、自然と勉強の能率が上がります。

偏差値は、合格までの距離感を測るために大事だけれど、ちょっとくらい差があっても、自分が絶対ここだと思えば到達できる。その過程で得た経験が、その後の人生の糧になります。

昨今は「文低理高」といわれ、理系の人気が高い。文系より就職しやすいなどといわれますが、それだけで安易に選ぶのは危険。卒業する頃には社会情勢も変わるものです。ミスマッチに終わると、夢の遠回りになります。

大学選びには、オープンキャンパスの機会を積極的に利用しましょう。地域貢献や国際貢献など、今はどの大学も特色を打ち出しています。どんな大学なのか、高校1、2年のうちから自分の目と耳を使って情報を集め、雰囲気や大学生の生の声に触れるといいでしょう。遠くの大学でも、分からないことはメールなどで問い合わせを。自分で動く、いい大学は必ず答えてくれます。

最近、大学選びでも地元志向が強いですね。保護者の意向や経済的理由もあるようです。地元の大学が決して悪いわけではありませんが、これから日本は世界を相手にしないといけない時代。大学生の時くらい地元を離れた世界を見た方がプラスかもしれません。

学習面でいえば、夏までは教科書レベルの基礎をしっかり身につけるべき時期です。この時期に弱点を克服すれば、センター試験の得点力に反映されます。時間はたっぷりあります。メリハリも大事です。勉強をしつつ、自分の志望校もしっかり固めましょう。

以上